

タンゴとサッカーの国 アルゼンチン

11月29日（火）高岡小学校で、国際理解出前講座を実施し、4年生83名が参加しました。講師は、アルゼンチン出身の大谷アリシアさんです。ご両親が日本からアルゼンチンに移住したとき、アリシアさんは1歳でした。

はじめに、「アルゼンチンを知っている人？」とアリシアさんが問いかけると、ちょうどサッカーのワールドカップが開催されていることもあり、たくさんの手が挙がりました。



アルゼンチンは南米にあり、世界で8番目に大きな国です。ヨーロッパからの移民が多く、「南米のパリ」と呼ばれるほどヨーロッパ風の建築物が多く見られるそうです。公用語であるスペイン語でのあいさつや、食べ物、観光地なども紹介されました。

アリシアさんが手に持っているのは、伝統音楽フォルクローレに欠かせない弦楽器チャランゴ。胴の部分には、アルマジロの皮が使われています。現在ワシントン条約の保護対象となっているため、なかなか手に入らない貴重な品です。

講座終わりには「どんな動物がいますか？」「魚は食べますか？」など、質問が多く出ました。残念ながら時間の都合ですべてには答えられませんでした。これを機にアルゼンチンや他の国に興味を持って、自分で調べたり家族や友達と話したりしてもらえたら嬉しいです。